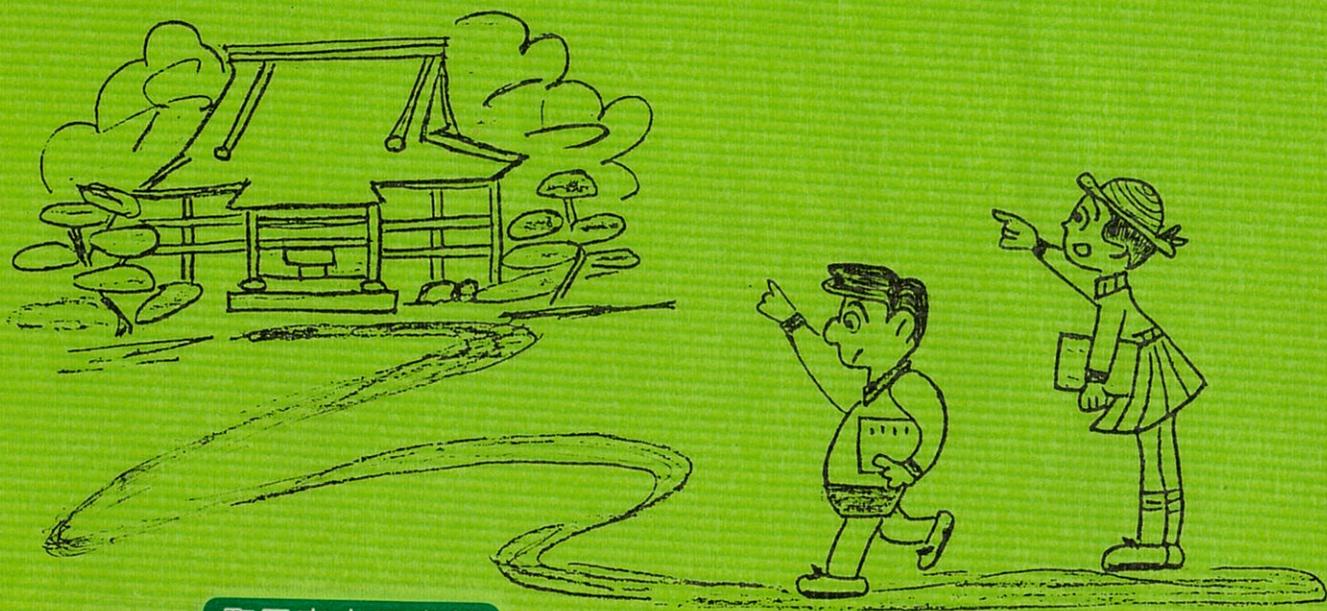


郷土資料集

郷土・小山田散歩



町田市立図書館



2010085609

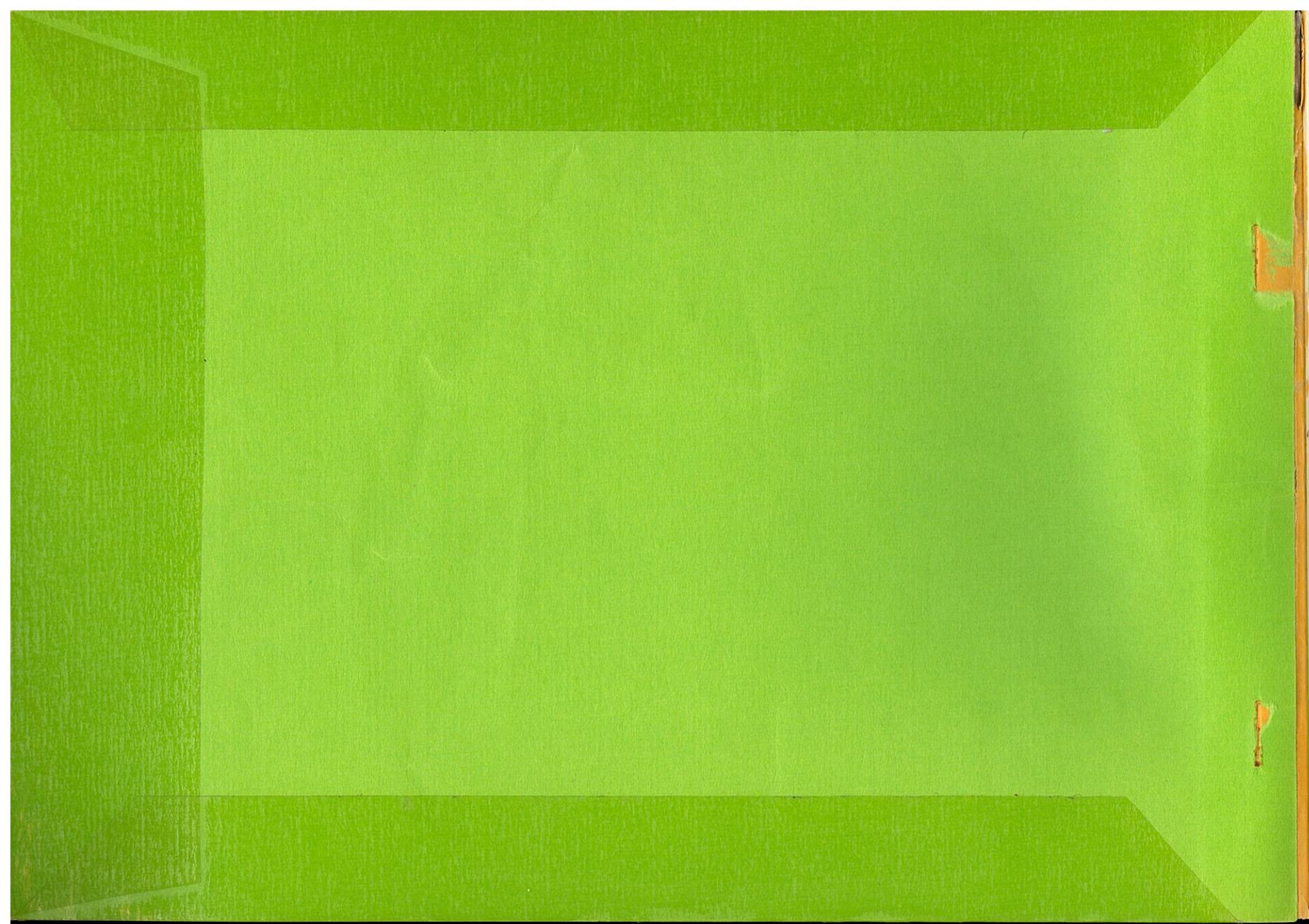
1984

町田市立図書館

貸出用

M10

D2



〈郷土資料集〉 郷土・小山田散歩

目次



- はじめに …… 3
- 1コース …… 7
 - ① 小山田神社 ② 馬頭観音 ③ 熊野神社
- 2コース …… 12
 - ① 大泉寺 ② 上根神社 ③ 白山神社 ④ 泉蔵寺
- 3コース …… 21
 - ① サイノカミ ② 稻荷神社 ③ 古くからの農家(森家) ④ 小山田ミツ葉
 - ⑤ 六部塚 ⑥ 正山寺
- 4コース …… 30
 - ① 養樹院 ② 庚申塔 ③ 薬師堂 ④ 地神塔 ⑤ 神明神社
- 小山田の行事あれこれ …… 38
- 町田図書館にあり小山田に關係する資料 …… 41



中華民國二十九年十月一日

國民政府

行政院

財政部

稅務司

第一〇〇〇號

林文郎

中華民國二十九年十月一日

<はじめに>

東京という大都市の近郊^{きんこう}に位置する多摩地区は、ここ十数年の間に急激に変化してきました。私たちの住む町田市も例外^{れいがい}ではありません。つい数ヶ月前まで青々とした樹木^{じゅもく}が繁^{しげ}っていた丘陵^{きゅうりゅう}がいつのまにか、ひな壇^{ひなだん}状に造成されて家が建ち、道路ができていたといた具合^{くあい}です。その変化の様は本当に驚^{おどろ}くばかりです。

たくさんの人々が、町田市に住むようになったので、山や川や町並み^{まちなみ}が変化するのは仕方ないのかもしれませんが、一方で町田市の美しい自然^{しぜん}や長い歴史^{れきし}に、はぐくまれた貴重な文化遺産^{ぶんか遺産}がどんどん失^{うしな}われてゆくことにも私たちは、十分注意^{ちゅうい}していなければなりません。

町田市小山田^{おやまだ}は、そんな中でも、美しい自然と歴史とがまだまだ豊かに息づいている、市内で数少ない地域^{かすね}です。小山田には、およそ500年前の中世をしのばせてくれる大泉寺^{だいせんじ}（下小山田）をはじめ、数々の歴史的な遺産^{いさん}が今なお残^{のこ}されていますし、また、それらを取りまく自然環境^{しぜんかんげい}も四季折々の美しいたたずまいを見せてくれています。

私たち町田市立図書館郷土資料研究会^{きょうどしりょう げん土資料研究会}は、そうした小山田の自然と歴史を、みなさんに少しでも知^てっていただく手掛^{てがかり}りにすればと考えて、このようなパンフレットを作ってみました。決して

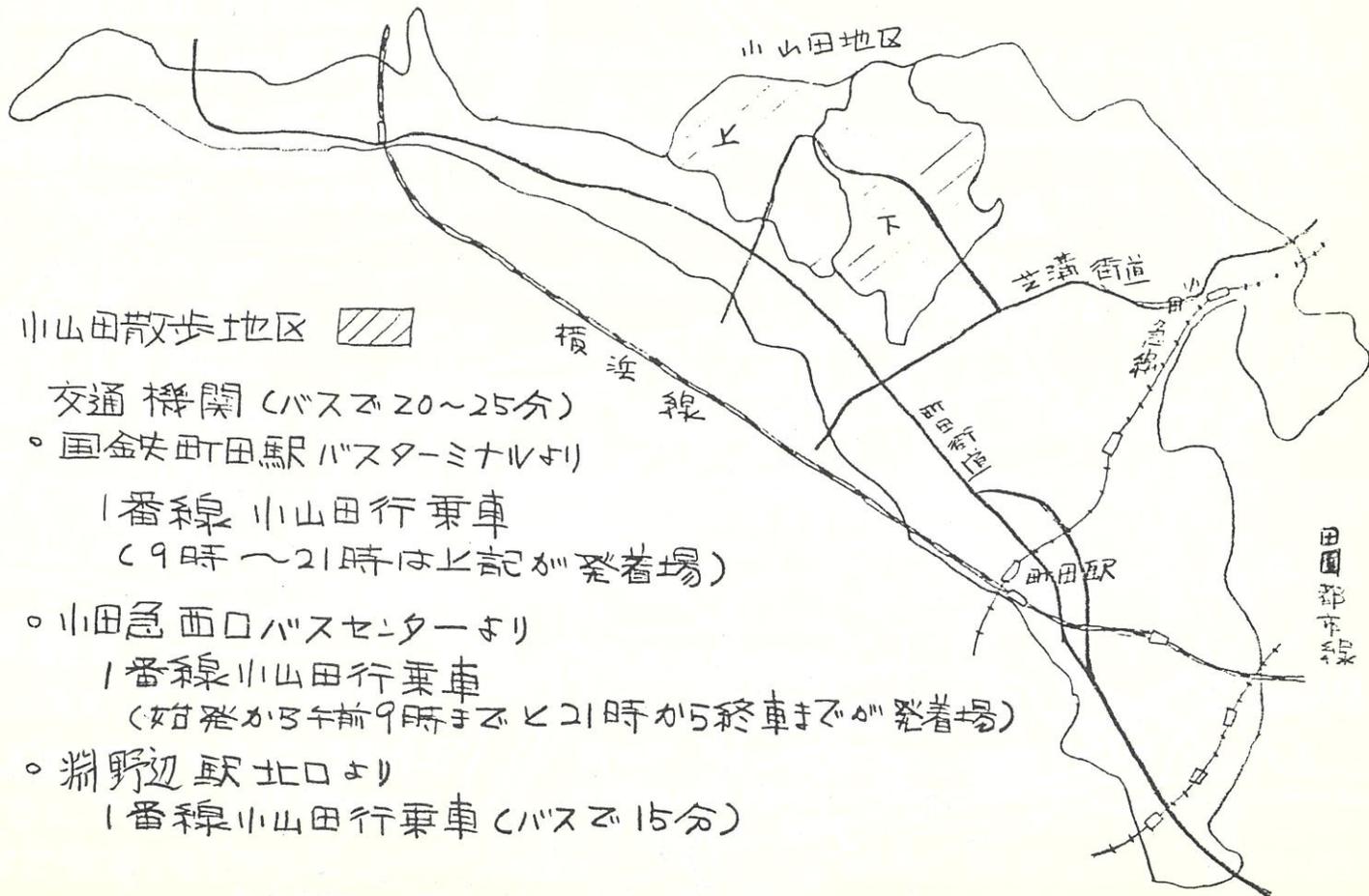
十分なものではありませんが、図書館に所蔵している郷土資料をもとに、何度か実際に
小山田を歩いてまとめたものです。

新緑が萌え出す春先や紅葉の秋などに、スケッチブックやお弁当といっしょにこのパンフレット
を持って郷土・小山田散歩に出かけてみるはどうでしょう。そして散歩の途中で何か新しい発見があつたら、図書館を利用してそのことについてもっとよく調べてみるのも楽しい
でしょう。この小さなパンフレットが、町田市を知るきっかけのひとつになってくれたらと考えています。

最後に、いろいろのお話を聞かせてくださった小山田の皆様、参考にさせていただいた書
物とお書きになった方々に心よりお礼を申し上げます。

町田市立図書館郷土資料研究会

散歩案内図



小山田散歩地区 

交通機関 (バスで20~25分)

○国金矢野田駅バスターミナルより

1番線 小山田行乗車
(9時~21時は上記が発着場)

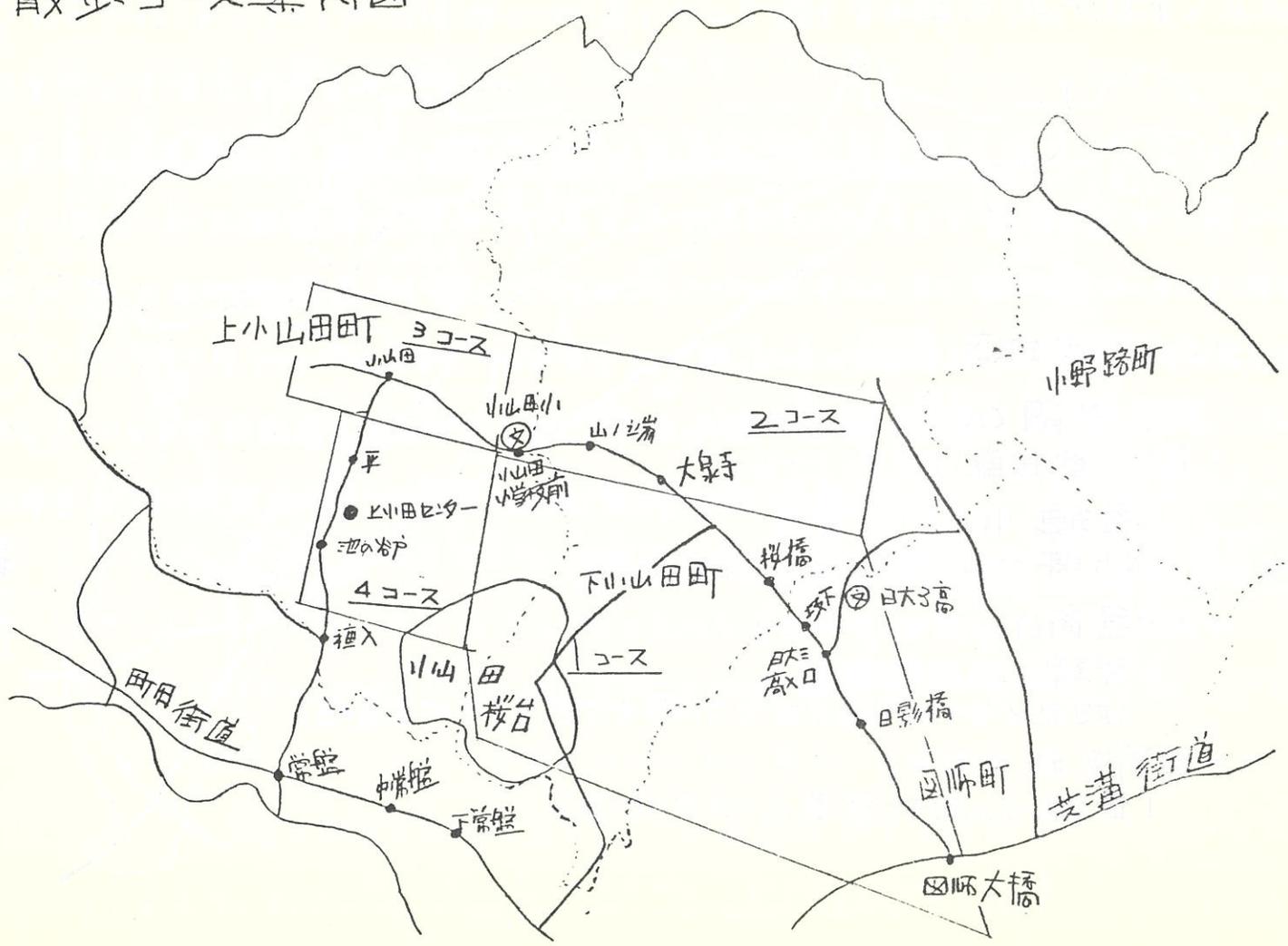
○小山田急西口バスセンターより

1番線 小山田行乗車
(始発から午前9時までと21時から終車までが発着場)

○淵野辺駅北口より

1番線 小山田行乗車 (バスで15分)

散歩コース案内図



1 コース

③ 熊野神社

創建は不明である、現在では鳥居とそれに続く階段、そして社(やしろ)が残っているだけである。社の右側に町田名木百選のヤマサクラがある。

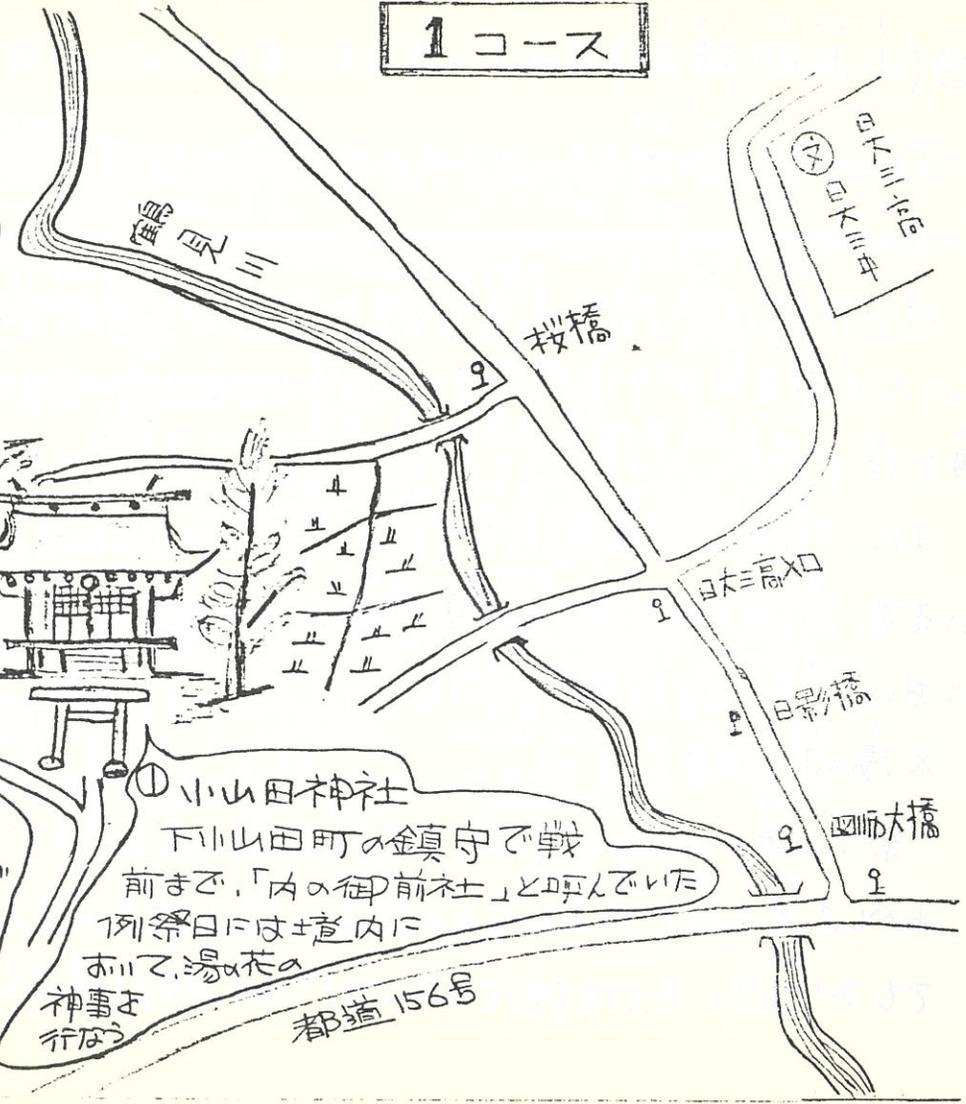


② 馬頭観音

昔、このあたりで、たくさん飼われていた馬が、病気や事故で死んだりすると、村の人々は石碑を建てて供養しました。

① 小山田神社

下小山田町の金真守で戦前まで、「内の御前社」と呼んでいた。例祭日には境内において、湯あがの神事を行なう。



① 小山田神社

下小山田の竹の内のたんぼの中にある下小山田町の鎮守で戦前まで「内の御前社」と呼んでいました。

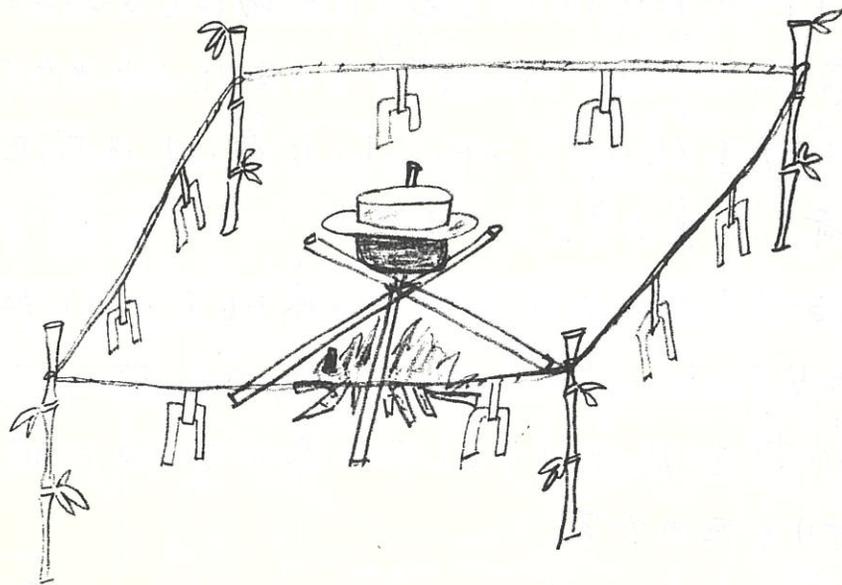
明治以降は祭神を天照大神としますが、『箭幹社八幡宮記』に小山田義重の妻になつた宇都宮友綱の娘が義重にかわいがられる妾の戸井田庄司の娘に嫉妬して長池に身を投げて死んだので、その怨を鎮めるために祀つたものといふ伝説を記しています。

また、『武蔵名勝図会』にも「工人云此社は、小山田殿の室家を祀りたるなりと云」としてあります。拝殿の中にある宮殿の扁額には「内御前宮」とあります。また、例祭日には境内において湯の花の神事を行います。

※湯の花の神事

祭りの庭の四すみに青竹を立て、しめ縄に垂をつけて、中央に大釜をすえ、火をたき、湯をわかして笹の枝で四方の人々の頭上に振りそぐ一種の浄の儀式です。また、占いの一種でもあります。古くは(明治4年ごろ)「湯立神楽」といい、これを行つた神社は、市内に20社

以上ありましたが、^{げんじの}現在は7社だけになってしまいました。小山田では、下小山田の小山
田神社 ^{かみねじんじや}上根神社で行われています。



棒を3本合わせ組んで、
釜をのせ湯をわかして、
ふりかける

(湯の花の神事)

②〈馬頭観音〉

何十年か前まで、この小山田のあたりでは、たくさんの農家で馬を飼っていました。馬は田や畑で作物を作るのに大切な働きをしてくれました。強い力で田や畑をどんどん耕してくれるので、村の人びとは、馬をとっても大切にしました。昔は正月17日の大泉寺観音堂の初縁日に、参道で馬の競争をしたりもしたそうです。大泉寺の競争の日には、人も馬も仕事を休んで、一日いっしょに楽しむ日だったのです。その頃の事を、今でも村のお年寄りも、良く覚えています。

馬は、人間と同じ家の中で、まるで家族のようにいっしょに暮らしていました。もし、馬が病気や事故で死んでしまったりすると、村の人びとは、たいへん悲しんで、お墓をたてたり、道端に馬頭観音という仏様をお祀りしました。馬が安らかに眠ることができるようにと、馬頭観音にお祈りしたのです。

人間のためにいっしょうけんめい働いてくれた馬たちに昔の人が、どんなに感謝していたか、よくわかりますね。

③(熊野神社)

平安時代の中ごろから紀伊(現和歌山県)の熊野山を中心とした修験者により、広まった熊野信仰に伴って建てられたものと思われれますが、いつできたか明らかではありません。

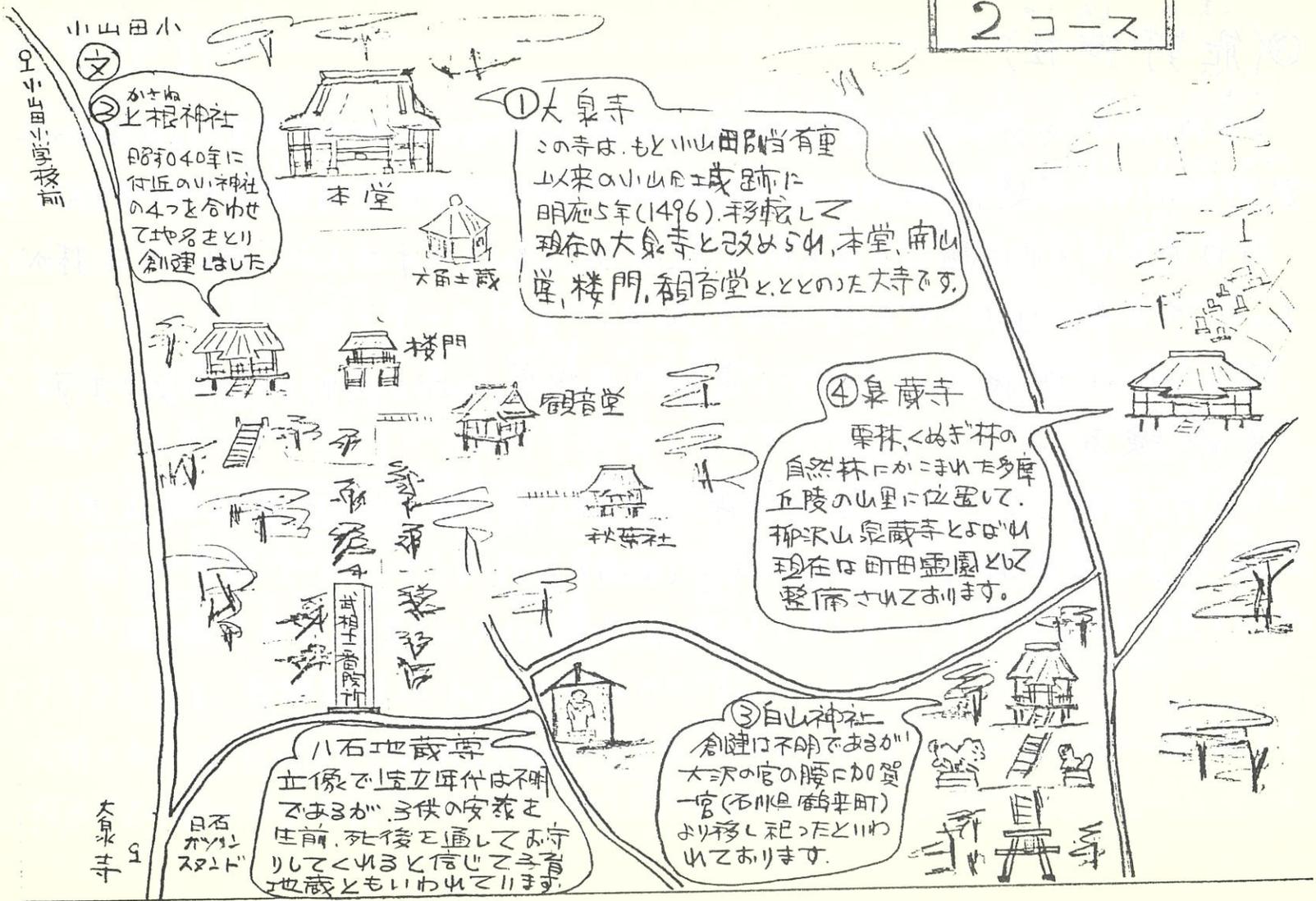
今は鳥居とそれに続く石段として社がのこっているだけですが、まわりには林がおいしげり、静か「またたすまいをみせています。

なお、町田には、他にも5カ所(『南多摩寺社統覧』による)熊野神社があります。

※ 修験者

山野に苦行して、その靈験を修得する行者。野に寝、山に伏すというので「山伏」の名がある。『ジャポニカ』(学研)より。

2 コース



小山田小

文

② 上根神社

187040年に
付近のい神社
の4つを合せて
地名をとり
創建した

① 大泉寺

この寺は、もとい山田当有重
以来のい山に域跡に
明応5年(1496)、移転して
現在の大泉寺と改められ、本堂、南山
堂、楼門、観音堂とよのた大寺です。

④ 泉蔵寺

栗林、くぬぎ林の
自然林にかこまれた多摩
丘陵の山里に位置して、
柳沢山泉蔵寺とよのた
現在は町田霊園として
整備されています。

③ 白山神社

創建は不明であるが
大3尺の官の腰に加賀
一宮(石川島鶴井町)
より移し祀ったといわ
れています。

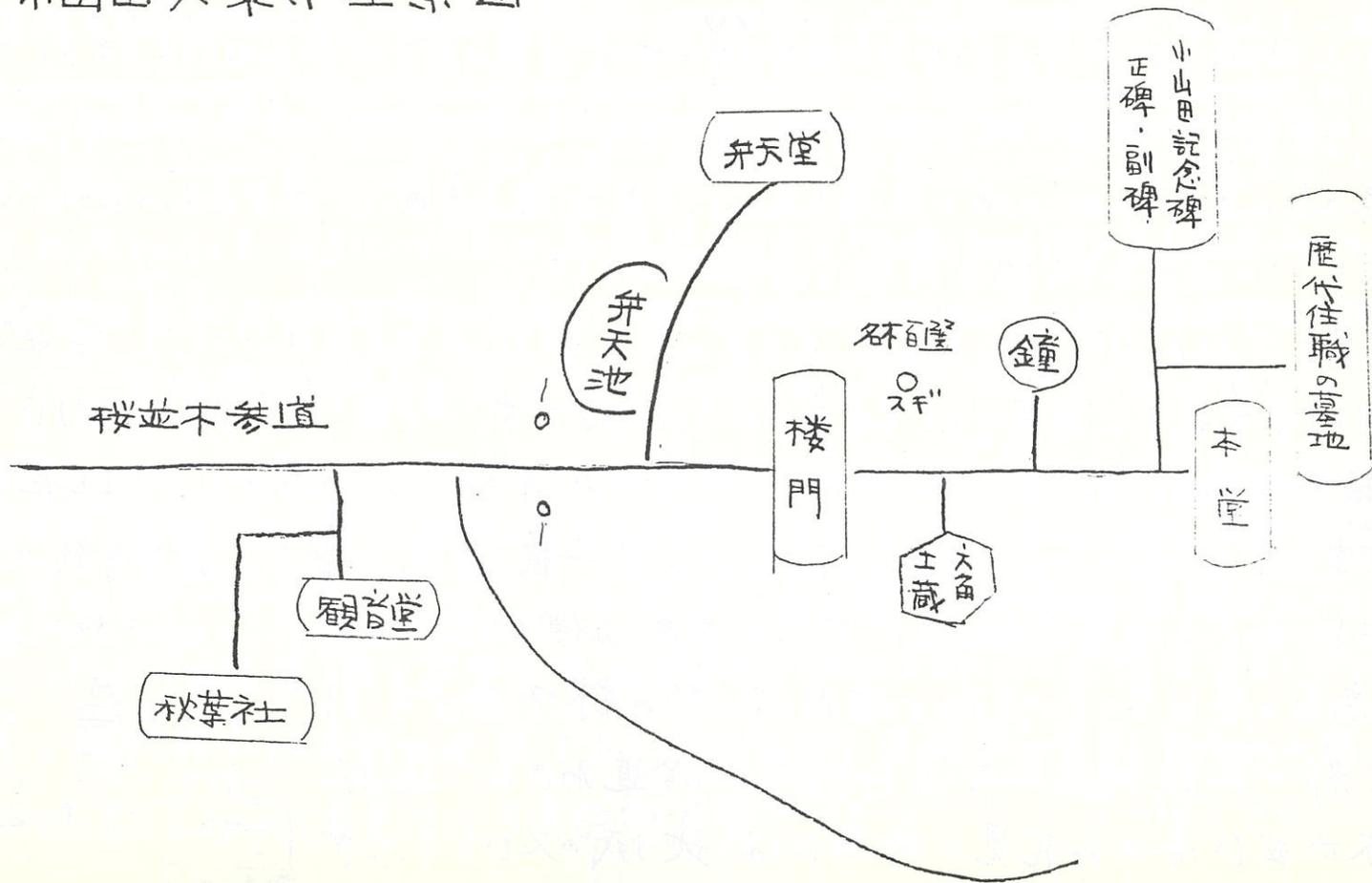
石地蔵尊

土像で、建立年付は不明
であるが、子供のお葬を
生前、死後を通してお守
りしてくると信じている
地蔵ともいわれています。

大泉寺

白石
ガンソ
ズンド

小山田大泉寺全景図



① 小山田城と大泉寺

小山田城は、承安元年(1171)、高倉天皇の時代に畠山有重が小山田別当有重として秩父から多摩郡小山田荘の地に移ってきて築いたものと伝えられています。小山田一族は皇室の馬の管理のためこの地に牧場を営んで、多摩丘陵を支配し、源平争乱の時代、50年にわたり、この地を本拠地に武将として活躍しました。

大泉寺は、小山田氏二代行重が、父有重の霊を弔うため安貞元年(1227)、現在の下小山田町字菩提入に高昌寺として建立したということです。その後、明応5年(1496)になって無極惠徹和尚によって小山田城址に移築され、寺の名も大泉寺となりました。

本堂左手から裏山へのぼる道を行くと小山田一族の墓が三基あり、鎌倉時代に、作られたといわれる宝篋印塔型で中央が有重、左側が行重、右側が高家の墓となっています。境内は、杉の林で昼でもうす暗く都の風致地区になっておりますが、参道わきに、梅桜の木が並び春のお花見の時期には、地域の人気で、にぎわいます。



小山田一族の墓
(宝篋印塔型)

弁天池

楼門の^ま手前^{きせつ}左側^{かえい}に池^{すいめん}があり、あやめが咲く季節には、花影を水面に落として、一番美しくあでやかです。

弁天堂

弁天池にそって、左手に66段の石段があります。石段をのぼると小堂があり4天の廊を三方にめぐらしています。4月と10月のはじめの巳の日に年寄りたちが集って、この小堂で念仏を唱えていました。

楼門

四天门とも呼んでいる仏教上の四方鎮護(しずめまもること)の四天王像を安置する門という意味です。町田市ではただ一つの門で二層草葺の入母屋造、高欄をめぐらして階上には、16羅漢像を安置してあります。

この楼門は、150年前の建築であることがわかり、美術的に見ても町田市の歴史のうえから見ても極めて尊重すべき建造物です。

※ 羅漢 = 阿羅漢

仏教において、悟りに到達して、人びとから尊敬、供養を受けるのにふさわしい者
をいいます。中国・日本で「羅漢」というのは、簡単にした呼びかたで、16羅漢、
500羅漢などで知られています。

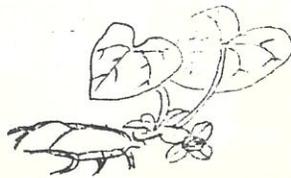
○ 無極和尚座像 (彫刻)

無極和尚座像は、寄木造りで、着色されています。頭を剃った僧形で玉眼(眼
に水晶やガラスをほめこむ)です。座像の高さは、2尺2寸5分(約68.2cm)あり、開
山堂に安置されています。

作者は、京仏師の宗心という人で制作された年代は、慶安2年(1649)ごろだと
わかり、その作風と年代・作者などの明らかなものとして昭和36年1月31日に都
の重宝(重要美術品)に指定されています。

○ タマノカンアオイ (天然記念物)

大泉寺本堂裏の歴代住職の墓地付近に生植している
ウマノスズクサ科に属する常緑草本で多摩丘陵を中心として

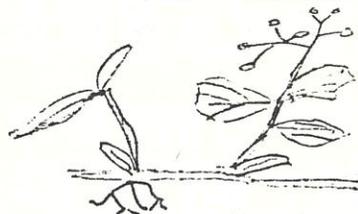


[タマノカンアオイ]

ふきん とくじんしゅ ちゅうもく
付近の特産種として注目すべきものです。

○ハイチゴサザ

大泉寺境内に生植しているイネ科の暖地性多年草で、栃木・茨城・千葉・東京の青梅に自生していますが、この付近では大泉寺で初めて発見され、しかも多産していることが明らかとなり、注目されています。



【ハイチゴサザ】

○小山田記念碑

この碑は、小山田城址と伝えられている大泉寺の本堂左手奥にあります。小山田別当有重が、城を築いてから一族の武将としての軍事行動の展開や、また、この小山田の長い歴史を誇りにする地元の人びとにより、これを永く後世に伝えるため、建碑運動がおこり、昭和54年5月25日に建てられました。市内外の多くの有志の基金を募って建てられたもので、正碑と副碑により構成され、正碑には、「小山田城址」副碑には、「小山田高家公顕彰碑」となっています。

○ 観音堂
参道の途中右側から55段の石段をのぼると、お堂があり、木造入母屋造りで一間
都を四方にめぐらしています。

1月17日が縁日で昔は馬がおまいりし、安全を祈ったということです。また
次の日に境内の参道で草競馬が行われました。

○ 秋葉社
火難除けの神で観音堂よりさらに25段の石段をあがったところに拜殿が
あります。真言密教の行事と考えられる火祭りが、11月16日に行われます。

② 上根神社

大泉寺の参道途中から左手に入ってゆくと南山上にあります。この神社は地
城の4社(寺内の宇都社、山の端の古金社、山谷台の住吉明神社、南沢の白山社)
を合わせて地名をとり、昭和40年5月28日に上根神社として創建した
ものです。現社殿は昭和46年4月25日に造営されました。

大祭の9月2日には、湯の花の神事を行います。

③〈白山神社〉

創建の年代はよくわかっていません。所在地は下小山田大沢地区で大沢の宮の腰に加賀一の宮(石川県鶴来町)白山比咩神社より移し、社殿を造営して祀ったといわれています。現社殿は、昭和41年4月25日に造営されました。

大祭の8月末日には、湯の花の神事を行います。

※白山比咩神社(白山神社)

石川県の名山・白山に対する信仰をもととした神社で石川県石川郡鶴来町の白山比咩神社を本宮とするものです。白山比咩大神伊弉諾尊、伊弉冉尊と祀り、現在全国に約270社あります。

④〈泉蔵寺〉(現・町田霊園)

柳沢山 泉蔵寺と呼ばれ、徳川家の老中首席であつた柳沢家の菩提寺で、江戸

牛込の宗参寺を本山と仰ぎ、正徳5年(1715)に建立されました。
本堂には十一面観音菩薩を安置し、祖霊の菩提を祈念し、今に歴史を伝えていきます。
また、武相観世音札所の第34番目の札所として知られています。

× 菩提寺

特定の個人を弔うために建立された寺や、その依頼を受けた寺をいいます。
菩提寺の建立は、室町時代から江戸時代にかけて、中央、地方の武家の間に流行しました。